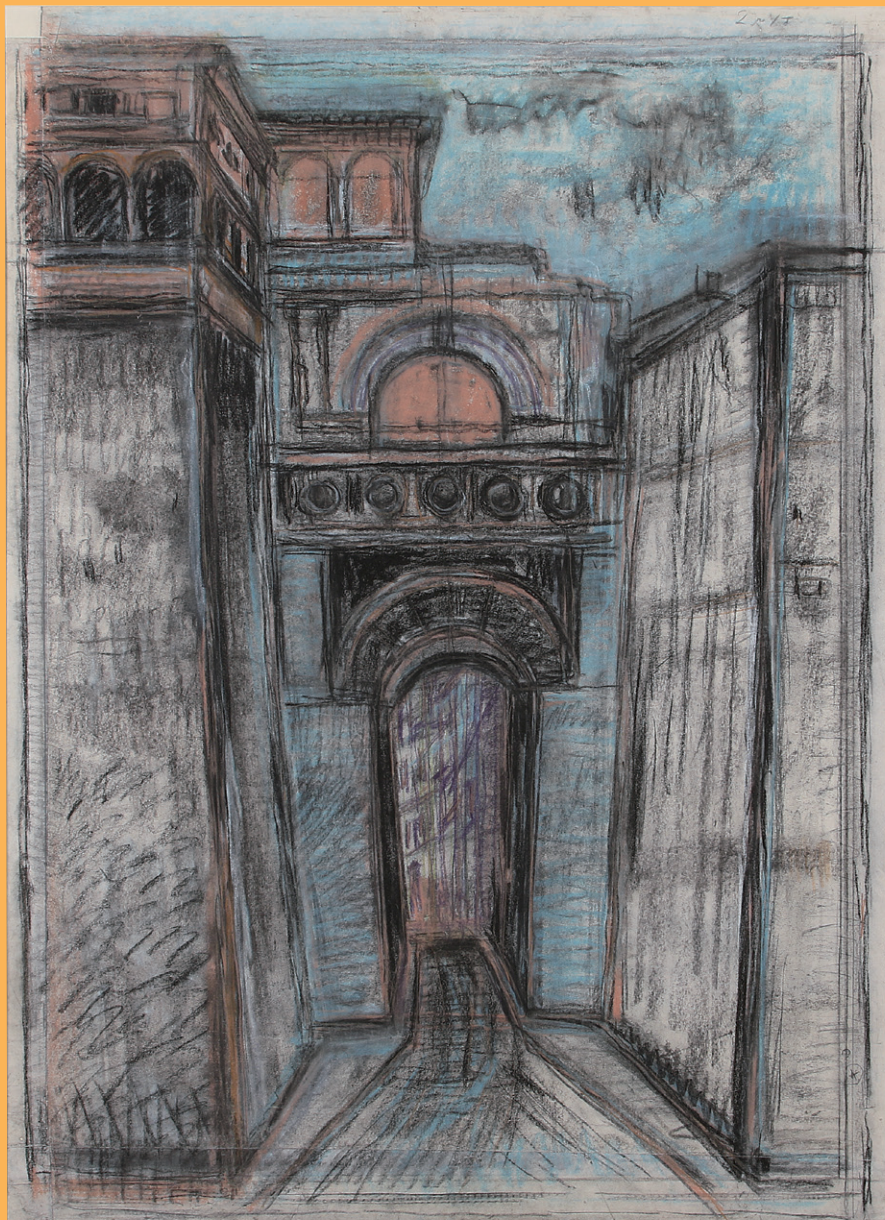


加藤栄三・東一

素描・下絵・本画

令和2年 9月15日(火)～12月20日(日)



加藤 栄三 「古城の町(下絵)」

岐阜市歴史博物館分館

加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410

開館時間：午前9時—午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休 館 日：月曜日【9月21日(月)、11月23日(月)は開館】9月23日(水)、11月4日(水)、11月24日(火)

観 覧 料：高校生以上 310円(団体 250円) 小中学生 150円(団体 90円)

※下記の方は無料となりますので、①②の方は証明できるものをご提示ください。

- ①岐阜市在住の70歳以上の方
- ②身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方とその介護者1人
- ③岐阜市内の小中学生
- ④家庭の日【9月20日(日)、10月18日(日)、11月22日(日)】に入館する中学生以下の方と、その家族の方

※()内は20人以上の団体料金。

第2展示室



山田 裕彦 「西域南道」

具象の美と出会う

示現会正会員展

令和2年 9月15日(火)～10月18日(日)

第2展示室



伊藤 彰耳 「山のふもとで」

はっ・とび2 伊藤 彰耳とその仲間たち

令和2年 10月20日(火)～12月20日(日)

具象の美と出会う 示現会正会員展

令和2年 9月15日(火)～10月18日(日)

今冬からの新型コロナウイルス感染症の蔓延により、春に開催予定だった第73回示現会展が中止になりました。国立新美術館、その他の美術館で行われる各団体の展覧会のほとんどが中止を余儀なくされたことは美術に携わる者、鑑賞される方々にとっても、いまだかつて経験したことのない事態です。ここに来て落ち着きを取り戻しつつあるとき、第53回岐阜示現会正会員展を加藤栄三・東一記念美術館にて開催できることは大変な喜びです。今回、岐阜県在住の示現会会員による100号から20号までの力作を展示します。これを機会に是非ご鑑賞ください。



内木 健二 「大綿津見(古事記より)」



吉田 正治 「季節のうつろい」



坪内 堯 「越前海岸の冬」



中村 美智代 「群像」



志知 正弘 「人気者」



加藤 勝彦 「機場」

出品作家

伊藤 稀子	中村 美智代
加藤 勝彦	中村 良彦
歳藤 豊子	藤本 正隆
志知 正弘	北條 久也
杉山 くに子	馬淵 勝司
鷺見 国男	山田 裕彦
坪内 堯	吉田 正治
内木 健二	渡邊 美恵

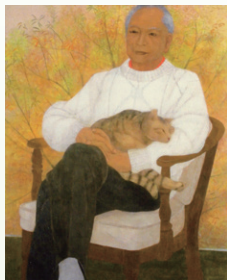
はっ・とび2 伊藤 彰耳とその仲間たち

令和2年 10月20日(火)～12月20日(日)

『はっ・とび』という研究会を立ち上げて、今年で18年目を迎えました。取材や写生に時間をかけ、題材から学ぶことを大切に作品づくりを18年間続けてきました。繰り返し同じ題材を取材し描き続けることの大切さを理解してもらうため美術館、画廊での研究発表展を開催し指導方法を模索してきましたが、思うように伝えたいことが理解されなかったように感じます。令和になり題材から学ぶという制作スタイルに加え、新たに大下図の大切さを知ってもらうための勉強を始めました。これが『はっ・とび2』のスタートです。本展では新メンバーを含んだ14名の作家を紹介します。



高田 峻典 「少女の頃」



霧生 斐倭子 「長閑Ⅳ」



石村 雅幸 「大蛇退治」



永野 浩子 「長谷川さん」

出品作家

伊藤 彰耳
飯嶋 智恵
石黒 紀子
石村 雅幸
伊藤 みさと
小田切 恵子
霧生 斐倭子
杉山 紅
高田 峻典
永野 浩子
長谷川 美恵
林 克彦
安恵 隆司
山崎 洋子



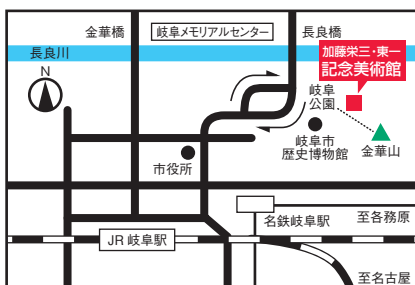
杉山 紅 「秋のたのしみ」



石黒 紀子 「黄昏て」



林 克彦 「群像」



交通案内

JR岐阜駅または名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きバスで「岐阜公園・歴史博物館前」で下車(所要時間約15分)・徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェイ駅横)

駐車場

岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。なるべく公共交通機関をご利用ください。

岐阜市歴史博物館分館
加藤栄三・東一記念美術館

貴方も友の会会員になってみませんか!

岐阜市歴史博物館
加藤栄三・東一記念美術館
友の会 会員募集

— 文化の時代 心に潤いと豊かさを —

特典

- ・会報の配布、各種催しもの案内が受けられます。
- ・展覧会などの催しものが無料で何回でも観覧できます。
- ・会員の引率する観覧者は団体割引料金になります。